

市況スポット情報

2010/2/9
岡藤商事株式会社

	先限引値	前日比		先限引値	前日比
東京金	3,082	10	東京一般大豆	38,690	400
東京銀	44.3	0.3	東京NON-GMO大豆	46,530	830
東京白金	4,251	24	東京とうもろこし	20,150	240
東京パラジウム	1,160	17	東京小豆	11,290	60
東京原油	40,530	250	東京粗糖	42,600	-100
東京ガソリン	49,880	280	東京アラビカコーヒー	21,180	260
東京灯油	47,050	340	東京ロブスタコーヒー	14,420	-800
東京ゴム	270.2	3.6			

東京工業品取引所銘柄は帳入値

【貴金属】

貴金属市場は全面高。ユーロ反発でスポット市場は金が1,069ドル、白金が1,485ドルへ反発。ドル円は89円台前半と前日引け時点からは小動きで、東京市場はスポット市場の上昇を反映する格好となった。金期先は堅調だが夜間取引でつけた3,100円抜けず。白金期先は4,200円台前半から半ばで推移し、底堅さ。ドル高一服でスポット市場には下げ一服感が見られるが、上値には重さも。

【東京原油・石油製品】

石油市場は堅調。NY原油は71ドルで下げ渋り、東京市場では、夜間取引で一旦高値をつけた後反落、日中立会いは安寄りから下げ幅を縮小、前日終値を上回って引けた。ガソリン期先は終値で50,000円を回復できず。灯油期先は47,000円を回復して引けた。原油期先は安値でも40,000円を維持している。NY原油は70ドルを支持に下げ渋りか。

【東京ゴム】

ゴムは堅調。石油市場や商品全般の反発に追随。期先は260円を支持して反発しており底堅さも。ただし、旧正月を控え、中国と産地の東南アジア地域は休日ムードとなるため、市場には薄さも。

【東京大豆】

一般大豆4月限を除き堅調。一般大豆期先は38,000円台で下げ渋り。NON大豆では当限がストップ高(1,800円)まで上昇した。シカゴ大豆は米農務省需給報告を控え900セントを支持に反発。930セントを回復している。しかし、南米の生育は順調で、生産高上方修正の可能性も残す。

市況スポット情報

2010/2/9
岡藤商事株式会社

【東京トウモロコシ】

トウモロコシは堅調。期先は終値で 20,000 円を回復。20,000 円前後で下げ渋り小幅保合を継続。シカゴトウモロコシも 350 セントで下げ渋るが、戻りには重さ。米需給報告の発表を控えるが、南米での生育も順調と見られている。米国の作付計画がある程度固まるまでは動きにくい。

【東京小豆】

小豆は堅調。期先は一時 11,300 円をつけたが、終値では維持できず。11,000 円を上抜くが伸び悩む面も。

【東京粗糖】

粗糖は期先のみ軟調だが他は堅調、特に中限で上値を伸ばした。NY 粗糖は反発だが、期近と期先で地合が異なるため、東京期先は 43,000 円を抜けずに保合継続となっている。

【コーヒー】

アラビカは堅調。期先は 21,000 円を割り込むが保合のレンジ内での推移。NY アラビカは 130 セントを回復するが重さも。

【東京為替】

ドル円は 89 円台前半での推移。89.20 円を支持に、89.60 円へわずかながら円安傾向。ユーロドルは 1.3640 ドルを支持に反発し、1.3740 ドルを回復している。ドル買いが一服、大幅に売られていた欧州通貨を中心に戻りをいれている。

17 時 00 分時点ではドル円は 89.55 / 56 円、ユーロドルは 1.3729 / 32 ドル、ユーロ円は 122.94 / 98 円。

東京工業品取引所日中立会終了時点で作成しています。

〔商品先物取引に係る留意点について〕

2010年2月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年2月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約31倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。